

### 問 駅前デザイン統一へのパス<sup>注1</sup> 予算化は

### 答 シンポの写真を活用し、予算化は検討



伊藤まゆみ 議員

を検討、と課長が述べている。予算がつくというところでよいが。

**答** 総務課長 課の中では、景観シンポジウムで電柱を除く等の写真があったのでそれを活用するのはどうかと。予算付けは検討中。

### 【「協働の村づくり」について】

昨年8月24日から始まった白馬町駅前整備検討会で出された、提案や要望ほどの程度解決されているか。

**答** 駅前無電柱化は是非実現したい大型事業で、大町建設事務所が事務局。駅周辺は世界水準の観光地を目指す白馬にとつての顔。拠点としての整備が検討会の本命題。地域発案のハード事業は経費等、短中期の解決は困難。ソフト事業は新年度にも着手したい。

**問** 建物のデザインの統一に關して、パスがあればイメージしやすい。どこが費用負担するかだが、村が実施となれば来年度か今年度の補正での対応

後は大切な位置を占めていきそうだ。安曇野市や軽井沢町のように水の計画や条例を作り、水を守ることでイメージアップする、差別化、ブランド化の予定は。

**答** 今後、環境というカテゴリーの中で検討。

**問** オリンピック20周年にあたり、「長野オリンピックモニユメントの改修を行いたい」との要望がある地区から出た。この20周年という節目を通じて、住民とともにオリンピックのレガシー(遺産)を活かすなどの方針は。

**答** モニユメントを活かすという方向性は村も共通の認識。手法や費用負担は新年度予算で、各種補助制度も加味しながら調整。その他村管理のモニユメント等は予算との兼ね合いで随時更新。

**問** 村の地下水がどういう状態であるか、毎年どれだけ溜るのか、あるいは減るのかをご存知か。

**答** 地下水のそういった量的な調査等は行っていない。

**問** 「水は社会的共通資本<sup>注2</sup>」という考え方があり、今

**答** 村長 私の「にぎわいのある白馬」へ前進するための公約の1つ。他の事業の推

進を望む声もあるかもしれないが、調査結果を待ち総合的に判断。



“Am I wrong place?” 「私、場所間違えた？」  
「世界水準のリゾート」の触れ込みで来村した外国人観光客の声。  
世界水準に恥じない「まちなみ」への推進が求められる。  
(白馬駅前で行われた元旦に行われた振る舞いのようす)

注1: 完成予想図、透視図  
注2: 人々が豊かに、文化的に、かつ未来に向けて持続可能な形で暮らしていくことを可能にするための装置という考え方